

第3期宮前区区民会議 第3回企画部会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成23年2月1日(火)17:00～18:30

場所：宮前区役所 保健所1階集団教育ホール

次 第

- 1 第4回全体会の議事
- 2 専門部会における検討状況
 - ・共通事項
 - ・活力づくり部会
 - ・地参知笑部会
- 3 企画部会からの報告事項
 - ・区民会議フォーラム
 - ・中間報告
- 4 その他

【配布資料】

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 資料1 | 第4回全体会 次第(案) |
| 資料2 | 第4回全体会 座席表(案) |
| 資料3 | 両部会共通事項(予算要求を見据えた専門部会の流れ・住民意識の変化) |
| 資料4 | 活力づくり部会 検討経過(案) |
| 資料5 | 地参知笑部会 検討経過(案) |
| 資料6 | 区民会議フォーラム(案) |
| 資料7 | 中間報告 構成(案) |
| 参 考 | 自治推進フォーラム広報資料 |

第3期宮前区区民会議 第4回全体会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成23年2月10日(木)18:00～20:00

場所：宮前区役所 4階大会議室

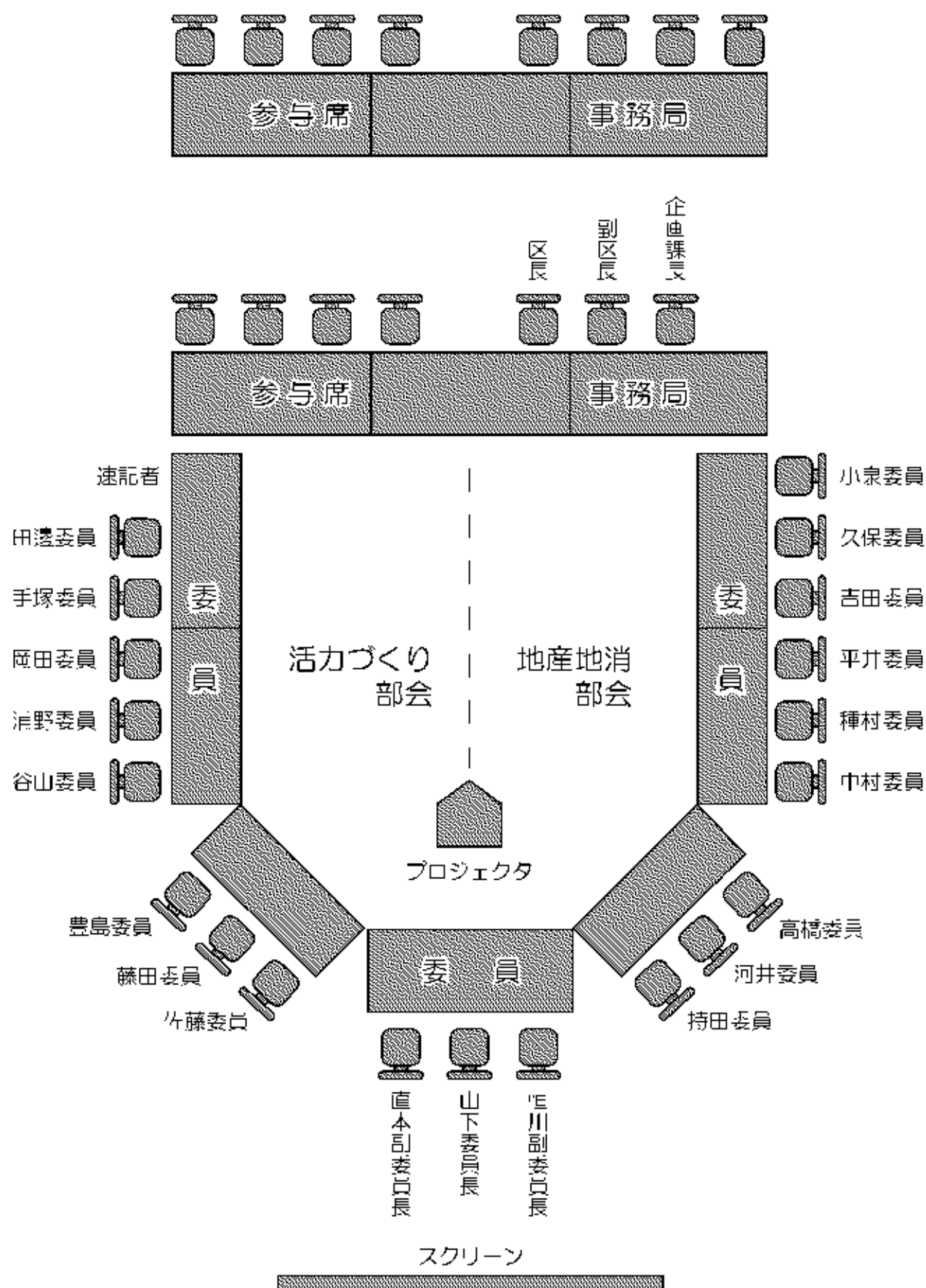
次 第(案)

- 18:00～ 1 開会
- 2 報告
- 18:10～ (1) 第3期実行計画案
- 18:20～ (2) 第2期区民会議提案事業の進捗状況
- 3 議事
- 18:35～ (1) 専門部会からの報告
- 19:00～ (2) 意見交換
- 19:40～ (3) 企画部会からの報告
- ・区民会議フォーラム
 - ・中間報告
- 19:50～ 4 その他
- ・区民会議交流会(自治推進フォーラム分科会)

【配布資料】

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 別紙1 | 座席表 |
| 別紙2 | 第3期宮前区区民会議 名簿 |
| 別紙3 | フリーメソ |
| 資料1 | コミュニティづくりのイメージ |
| 資料2 | 第3回全体会までの議論まとめ |
| 資料3 | 予算要求を見据えた専門部会の流れ |
| 資料4 | 住民意識の変化のプロセス～どうすれば変わる？住民意識～ |
| 資料5 | 活力づくり部会 検討経過 |
| 資料6 | 地参知笑部会 検討経過 |
| 資料7 | 区民会議フォーラム(案) |
| 資料8 | 中間報告構成(案) |
| 参考1 | 第3期実行計画 宮前区 区計画案 |
| 参考2 | 宮前区冒険あそび場支援検討委員会 検討資料 |
| 参考3 | みやまえカルタ制作実行委員会 検討資料 |

第3期宮前区区民会議 第4回全体会 座席表 (案)



予算要求を見据えた専門部会の流れ

平成22年度

平成23年度

平成24年度予算要求

11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

資料					
進行	議論の軸を見出す	方向性と骨組みをつくる	肉付けをする	提案をまとめる	調整
第3回全体会	第4回全体会	第5回全体会	第6回全体会	第7回全体会	文喜等の最終調整
活づくり部会	③	⑤	⑦	⑨	
地参知笑部会	④	⑥	⑧	⑩	
項目	・コミュニティづくりにつなげるようアイデアを出し合う ・他地域の状況や先進事例をリサーチ ・アイデアの中から検討すべき内容、議論の軸を見出す	・議論の軸となる項目を中心に検討し、議論を深める ・先進事例や参考事例の調査や検証を行う ・来夏の予算要求時期を見据え、第3期提案の基本的な方針をまとめる	・基本方針をもとに、具体的な内容の検討（予算を必要とするものを中心に） ・区内での実施可能性の調査と検証 ・予算を必要とするものについては内容を確認	・予算を必要としないものを中心に検討 ・区長への提案に向けて各部会の提案を詰める	
第3回全体会	第4回全体会	第5回全体会	第6回全体会	第7回全体会	文喜等の最終調整
活づくり部会	③	⑤	⑦	⑨	
地参知笑部会	④	⑥	⑧	⑩	
項目	・コミュニティづくりにつなげるようアイデアを出し合う ・他地域の状況や先進事例をリサーチ ・アイデアの中から検討すべき内容、議論の軸を見出す	・議論の軸となる項目を中心に検討し、議論を深める ・先進事例や参考事例の調査や検証を行う ・来夏の予算要求時期を見据え、第3期提案の基本的な方針をまとめる	・基本方針をもとに、具体的な内容の検討（予算を必要とするものを中心に） ・区内での実施可能性の調査と検証 ・予算を必要とするものについては内容を確認	・予算を必要としないものを中心に検討 ・区長への提案に向けて各部会の提案を詰める	

住民意識の変化のプロセス ～どうすれば変わる？住民意識～

■議論のベース

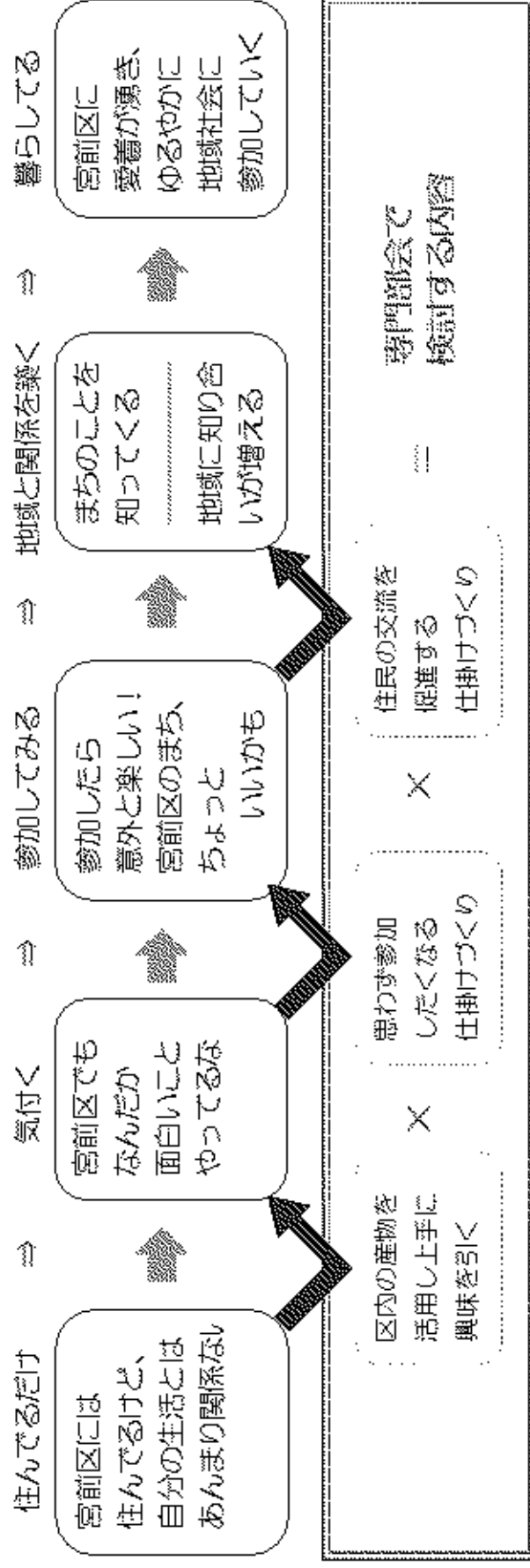
【当面の目標】 区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、愛着や帰属意識をつくる

地域社会と接点を持ち、地域社会に関わる・参加する人たちを増やす

【ターゲット】 今は宮前区と離れた生活をしていても、地域社会に参加する素養のある層

⇒ 宮前区に『ただ住んでるだけ』と言う意識を、このまちで『暮らしでる』と言う意識に変えていく

■どうすれば変わる？住民意識



活力づくり部会 検討経過（8月～10月）

第2回全体会（平成22年8月3日）

宮前区らしさ・地域特性を前面に打ち出したコミュニティづくりとして、「活力づくり」というキーワードを軸に検討していくことを選定

第1回（平成22年9月7日）

- ・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ
- ・具体的な審議テーマ

■コミュニティづくりのイメージ

- ・区民のコミュニティへの関わりについて議論した。地域への参加を促進する対象として、Cを中心にするという議論もあったが、A・Bのタイプを中心に地域参加のきっかけを提供し、①・②にしていくということになった。

地域参加を促す対象

- A: きっかけがあればすぐ参加
B: 地域に参加する素養がある
C: 地域に全くの無関心



A・B層を
①・②に
していく

地域参加の段階

- ①興味を引く、
②参加し、楽しんでもらう
③人材の発掘
④担い手となる
⑤地域のコア

■具体的な審議テーマについて

- ・以下の主な意見が出された。これらをもとに、次回さらに議論を深めることになった。
- ◇宮前区に多い「坂」を活かす ◇坂を含め複数の資源をうまく組合せる
- ◇高齢者が元気になる取り組み

第2回（平成22年10月6日）

- ・これまでの整理
- ・コミュニティにつながる仕掛けづくり

■これまでの整理

- ・地域社会の土壌づくりとして、まちや人に興味を持ってもらい、自然と地域社会に参加してもらうための仕掛けを検討することを確認した。

■具体的な仕掛けづくり等について

- ・主に坂を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
- ◇坂を活用したイベント（自転車レース、スタンプラリー、坂の登り方講習等）
- ◇イベントではなく誰もがいつでも取り組めるもの（坂だけでなく眺めの良い所や神社公園などを巡るスタンプラリー、各ポイントでのカロリー表示等）
- ◇他のイベントや既存のものを活用する
- ◇参加したときの成果が見える取り組みにする（景品プレゼント等）
- ◇第2期区民会議までの取り組みも活かす
- ・今回は、坂以外の切り口でのアイデア出し、坂に関連する既存の事例を収集する。

■部会名称、部会長について

- ・名称は「活力づくり部会」に決定（今後、副題をつける可能性がある）
- ・部会長は数名を推薦し、委員長・副委員長に一任する。

第3回全体会（平成22年11月11日）

「コミュニティづくりのイメージ」「当面の目標・ターゲット・アプローチ」などこれまでの議論内容を確認し、意見交換を行った。

■意見交換

- ・第1期の体操や第2期の公園など、これまでの取組と上手く関連付けられないか。
- ・仕掛けとしてはイベントが入りやすいが、それだけに終わらず普段の活動につなげられるようにしたい。
- ・いろいろな団体が上手く連携を取り、区民の横のつながりをつくりたい。
- ・区民マラソンの参加賞に梨や地元の野菜を提供するなど、部会同士のコラボも。
- ・「楽しい」と思えることなら広がる。
- ・植木の里を散歩するとか、坂の上で見られる景色は財産。

第3回（平成22年11月24日）

- ・坂道を活用した取組みのアイデア
- ・坂道以外の視点の抽出
- ・他地域における坂に関連する取組みの紹介

■坂に関連する取組や他の地域の状況（主な3事例を紹介）

- ・「坂道ウォーキングのすすめ」東京都目黒区
 - ◇坂道をテーマにしたコースとともに、ウォーキングアドバイスなどを紹介したマップで、発売開始直後から売れ行き好調
- ・「ZAMA坂道マラソン」神奈川県座間市
 - ◇坂道を活かしたマラソン大会で、走る距離によって3つのコースを設定
- ・「ようよう坂町ウォーキングイベント」広島県坂町
 - ◇行政、大学、商工会が参画し、毎回主催者を変えて、内容のマンネリ化防止と担い手負担の分散を図っている

■坂道を活用したアイデア

- ・主に坂道を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
 - ◇坂道をマップをつくり、四季を感じられるようなコースや夜のコースを設定する。
 - ◇コミュニティの場に出てきてもらうためのイベントと普段できる継続的な取組みが必要だと思う。
 - ◇坂道を活用したクイズ・ラリー・ゲームを実施してはどうか。
 - ◇iphoneアプリを活用するなど若い人が参加するきっかけをつくることもできる。（神社公園などを巡るスタンプラリー、各ポイントでのカロリー表示等）
 - ◇行政やいろんな団体との連携が必要である。

■坂道以外の視点

- ・坂道以外の視点として、神社、公園、河川、団地、階段といった資源が挙げられた。

■次回部会について

- ・次回は、再度坂道を活用したアイデアと坂道以外の視点について議論する。

第4回（平成23年1月21日）

- ・坂道以外の視点の抽出
- ・今後の検討の進め方

- ・坂道を活用した取り組みのアイデア
- ・区民会議フォーラムの開催について

■坂道以外の視点

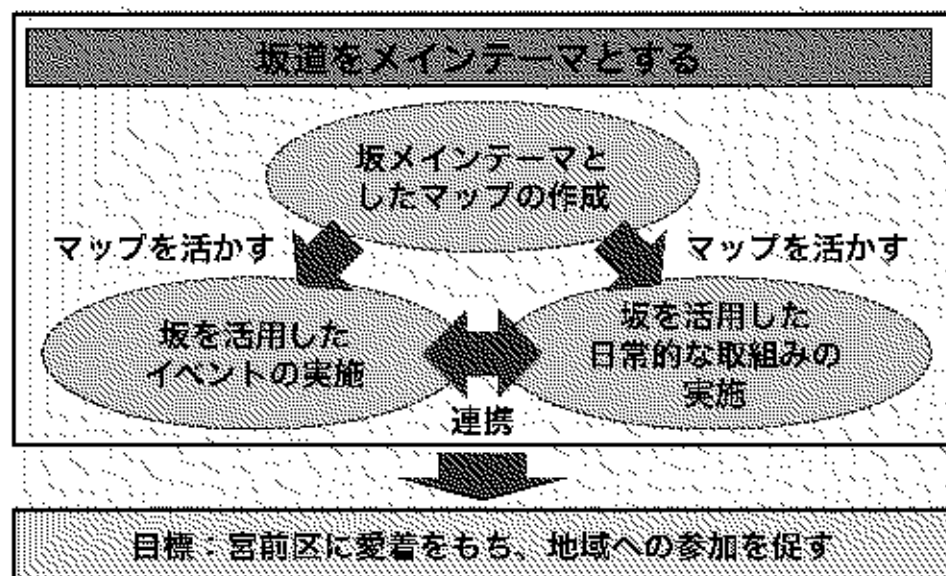
- ・坂道以外の視点は出されず、坂道をメインテーマとして、坂道周辺にある資源についてとりあげることにした。

■坂道を活用したアイデア

- ・主に坂道を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
 - ◇マップは坂道に限らず、坂道周辺の資源の情報も一緒に提供できるとよい。
 - ◇マップはイベントと連動するようなものをつくりたい。
 - ◇ただつくっただけで終わらないように、川崎フロンターレの協力を得るなどマップのPRにも力を入れたい。
 - ◇マップの作成にあたっては、目黒区の事例やこれまで区で発行されてきたマップを参考にしながら作成する。
 - ◇イベントは既存のイベントとの並列ではなく、それらを包括するようなものにしたい。
 - ◇イベントの景品については農商工と連携できるとよい。
 - ◇坂道をいろんな形で取り上げることでよりいろんな世代とかかわれるようにしたい。

■今後の進め方

- ・今後の進め方は下記のとおりとした。
- ・次回はマップについて議論する。これまでの部会での意見を踏まえて検討する。



■区民会議フォーラムの開催について

- ・3月12日（土）に開催予定のフォーラムの案を説明した。

活力づくり部会 検討経過報告

第3回: 平成22年11月24日(水)

第4回: 平成23年 1月21日(金)

平成23年2月10日

第3回と第4回は検討内容は次のとおりです

1

第3回部会: 平成22年11月24日(水)

- ・坂道を活用した取り組みのアイデア出し
- ・坂道以外の視点の抽出
- ・他地域における坂に関連する取り組みの紹介



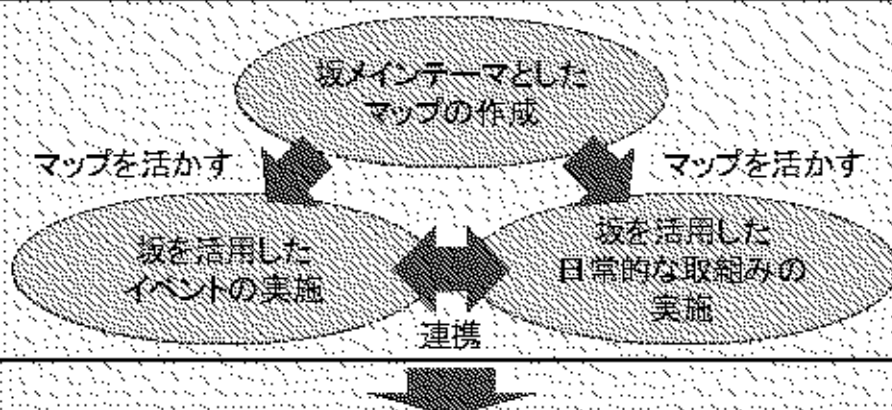
第4回部会: 平成23年1月21日(金)

- ・坂道以外の視点の抽出
- ・坂道を活用した取り組みのアイデア出し
- ・今後の検討の進め方
- ・区民会議フォーラムの開催について

今後は次の3点を中心に検討を進めます

2

坂道をメインテーマとする



目標: 宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す

坂道を活用した取り組みは次のとおりです

3

■坂道ウォーキングのすすめ(目黒区)

- ・坂道をテーマにし7テーマに沿ったコースを紹介
- ・坂道ウォーキングアドバイスや準備体操や整理体操についても紹介
- ・オリンピックで活躍したマラソン選手(東海大宇佐美名誉教授)のコメントを掲載
- ・1冊200円で販売だが、メディアに取り上げられるなど、売れ行き好調



坂道を活用した取り組みは次のとおりです

4

■ZAMA坂道マラソン(座間市)

- ・坂道を活かしたマラソン
- ・走る距離によって3つのコースをつくり、幅広い世代を対象にしている



■ようよう坂町ウォーキングイベント(広島県坂町)

- ・行政、大学、商工会が参加し、毎回主催者を変えて、内容のマンネリ化の防止するとともに、担い手の負担を分散している

部会で出された主な意見

～坂道をテーマとしたマップに関する主な意見～

5

■マップで取り上げる地域の資源

- ・坂道だけでなく、坂道周辺にある資源も取り上げる
(神社、地蔵、公園、河川、団地、階段など)
- ・景色の良い場所を回れるようにする
(坂の上から見る富士山スポットなど)

■マップで紹介するコース

- ・四季を感じられるコースを設定する
- ・ナイトコースを設定する

部会で出された主な意見

～坂道をテーマとしたマップの作成に関する主な意見～

6

■健康づくりに関する情報の掲載

- ・坂道の歩き方について掲載する(膝の曲げ具合や呼吸法など右図のようにする)
- ・坂道を歩いたときなどの消費カロリーを表示する



部会で出された主な意見

～坂道をテーマとしたマップの作成に関する主な意見～

7

■マップのPR方法

- ・著名人の協力を得てPRする
(川崎フロンターレの選手など)
- ・坂道に関するCMをつくり、マップのおまけとしてDVDをつける

■マップ作成にあたって参考とする資料

- ・区内でこれまで発行されてきたマップや目黒区発行の「坂道ウォーキングのススメ」を参考にする

部会で出された主な意見

～坂道を活用した日常的な取り組みに関する意見～

8

- ・坂道ラリーを行う(区内全ての坂道写真をとったら、商品がもらえるといった取り組み)
- ・坂道写真クイズを行う(同じ写真を取れたら景品プレゼントする)
- ・坂道ゲームを行う(いくつかの坂道を巡り、そこに隠されている言葉をつなぐと、ひとつの言葉になる)
- ・名前の付いていない坂道に名前をつけるなど、親しみをもってもらう機会をつくる。
- ・iPhoneアプリ(右写真)などを使い、若い人が参加するきっかけをつくるとともに、話題性の高いものにする



部会で出された主な意見

～坂道を活用したイベントに関する意見～

9

■イベント内容

- ・ウォーキングラリーやスタンプラリーを実施する
- ・坂道をつないだコースをつくりマラソンを開催する
- ・ツール・ド・ミヤマエを開催する。電動・ママチャリ・補助輪付きなど部門別でイベントで実施できる
- ⇒定例開催は運営が大変。いろんな団体が交代で開催すればマンネリ防止と負担分散できる。
- ⇒既存のイベントと連携して行う
- ⇒区の自転車保有率は低く、関心が持たれないのでは
- ⇒交通規制など少し大掛かりになるのではないか
- ・坂道の歩き方や健康診断も併せて実施できるとよい

■イベントの参加賞

- ・農商工と連携して、宮前区の産物を使ったらどうか

地参知笑部会 検討経過（8月～1月）

第2回全体会（平成22年8月3日）

宮前区らしさ・地域特性を前面に打ち出したコミュニティづくりとして、「地産地消」というキーワードを軸に検討していくことを選定

第1回（平成22年8月31日）

・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ

■コミュニティづくりのイメージ

- ・区民のコミュニティへの関わりの深さは、①興味を引く ②参加し楽しんでもらう ③人材の発掘 ④担い手となる ⑤コアとなる、の5段階があり、どの層を中心に考えていくかについて議論した。
- ・①興味を引くと②参加し楽しんでもらうについては、お祭りなど既にいろいろな活動があるので、③人材の発掘や④担い手づくりを中心にやっていった方がいいという意見もあったが、まだまだコミュニティと関わりのない区民が多くいるため①と②を中心に考えていくことになった。

第2回（平成22年9月30日）

・地産地消の具体的な題材

・部会名称と部会長

■地産地消の具体的な題材について

- ・具体的な題材としては以下が出された。
 - ◇樹木や緑
 - ◇食材や区内の産物を使った料理、お店
 - ◇人
- ・これらをもとに、どのように仕掛けていくかを検討する中で題材を絞っていくことになった。

■部会名称、部会長について

- ・名称についてはもう少し内容を固めたうえで検討することとなった。
- ・部会長については候補者を出したうえで委員長・副委員長に一任する。

第3回全体会(平成22年11月11日)

「コミュニティづくりのイメージ」「当部の目標・ターゲット・アプローチ」などこれまでの議論内容を確認し、意見交換を行った。

■部会名称

- ・「地・産・地・消」には同音異句として、地域に【参加】、地域を【知る】、【笑顔】になる【紹介】する、【お褒め】するなどが考えられるので、幅広く捉えて議論を進めていきたい。名称は第3回部会で決定する。

■部会長

- ・企画部会の検討結果を諮り、持田委員が部会長に就任

■意見交換

- ・産物については、実際に宮前区に住む区民でなければ知らないようなものを紹介し、地域住民のつながりができるものにしたい。
- ・自分たちが「楽しい」と思えるような提案ならば、きっと広がるし、いろんな人を誘って次のステップに進める。
- ・やはり「地のもの」は元気のもと。
- ・いろいろな団体が上手く連携を取り、区民の横のつながりをつくりたい。
- ・区民マラソンの参加賞に梨や地元の野菜を提供するなど、部会同士のコラボも。
- ・農産物に限定しないで、宮前区の産物を幅広く捉えて進めたい。
- ・居酒屋で宮前区の野菜が好評だったり、安藤園でキウイ発売日に行列ができたたり、宮前ロールの例など、仕掛け次第では地産地消の効果はとても大きい。
- ・地元のものを見直す、気付かないものを気付くようにしてあげるといのが大事。

第3回(平成22年12月2日)

・地産地消を通じたコミュニティづくり

・部会の名称

■地産地消を通じたコミュニティづくり

- ・題材、仕掛けづくり、コミュニティづくりについては以下の意見が出された。

題材	仕掛けづくり	コミュニティづくり
イベント	・マラソン時のイベント開催 ・「区民の日」に一齐にイベントを開催する	・ランナー参加 ・ボランティア参加 ・企業・商店街とのコラボ
特産品	・料理をする ・直産所等で販売	
名所、特産品	・「宮前区の歌」をつくる ・ミステリーツアー開催 ・講座	・人の発掘、小学校等で歌う
町内会、自治会	・加入キャンペーン	
人	・マイスター制度	
情報	・情報をまとめて発信 ・プロモーションビデオ	

■部会の名称

「地・産・地・消」をテーマに、地域に【参加】、地域を【知る】、【笑顔】になる【紹介】する、【お褒め】するなどが考えられるので、幅広く捉えて議論を進めていきたい。名称は第3回部会で決定する。

第4回（平成 23 年1月 28 日）

・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

・区民会議フォーラム

■コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

- ・区民に情報が届いてない、情報を集約してはどうかという意見があった。
- ・新しく宮前区に来た人に区内の産物を紹介するための冊子（宮前区版「るるぶ」のようなもの）を検討していく。その際、記者を募集したり、お祭りなどで参加できることを書き込んだりして、サイレントマジョリティが地域に参加できる仕組みも考えていく。
- ・次回は目次案を検討する。
- ・なお、マラソン等については、活力部会が進めていくということなので、本部会ではコラボして参加して楽しんでもらえるものの提供を検討していく。

■区民会議フォーラム

- ・参加者は、各委員が一人ずつ連れてきてもらうことをイメージしている。
- ・「各産品でティータイム」について担当したいという声が上がった

地参知笑部会 検討経過報告

第3回：平成22年12月 2日（木）

第4回：平成23年 1月28日（金）

平成23年2月10日

第3回と第4回は検討内容は次のとおりです

1

第3回部会：平成22年12月2日（木）

- ・地産地消を活用したコミュニティづくりの
アイデア出し
- ・部会の名称について一地参知笑（ちさんちしょう）



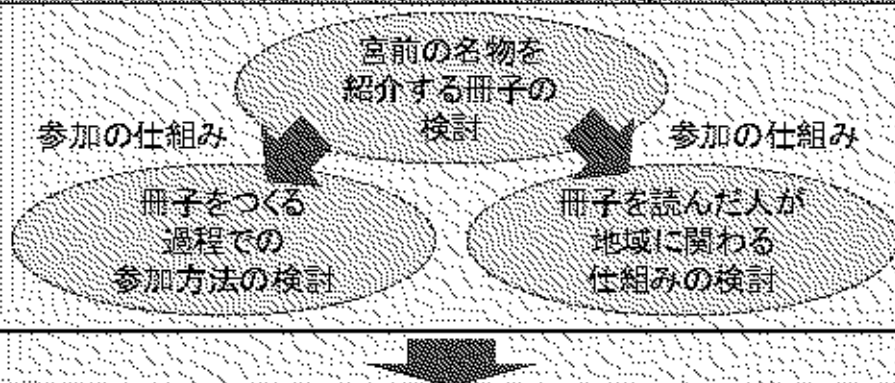
第4回部会：平成23年1月28日（金）

- ・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり
- ・区民会議フォーラムの開催について

今後は次の3点を中心に検討を進めます

2

題材: 宮前の名物(産物、場所、祭り、人)
仕掛け: 冊子による情報発信



目標: 宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す

宮前の名物(産物、場所、祭り、人)

3

■冊子で紹介する宮前の名物のイメージ

- ・次回に目次を検討
- ・産物や場所、祭り、人などを紹介する予定



小泉農園のイチゴ(小泉農園HPより)



長尾の妙楽寺のあじさい

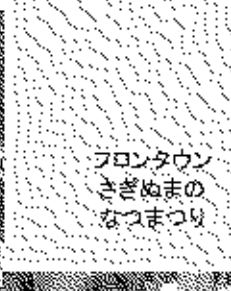
宮前の名物(産物、場所、祭り、人)

4

■冊子で紹介する宮前の名物のイメージ



馬絹神社の例大祭



フロントタウン
さぎぬまの
なつまつり



東高根森林公園の
収穫感謝祭

宮前の名物を冊子により情報発信

5

■見たくなるような情報発信

- ・興味深いものを抜粋する
- ・情報を整理する

■届かせる仕組みは?

- ・例えば、新規に宮前区に
転入する人には全て手渡す
(年間約6000人)



ふるふ川崎市
2010年12月10日発行
(JTBパブリッシングHPより)

冊子をつくる過程での参加方法の検討

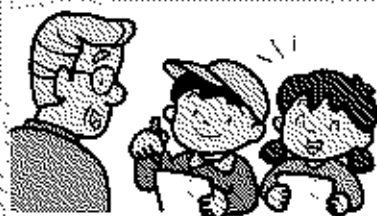
6

■つくる過程での参加が大事

- ・冊子をつくる過程で地域にあまり関わっていない層が地域に関わる機会をつくる

■参加の方法のイメージ

- ・区民記者の募集
- ・子どもたちによるインタビュー



冊子を読んだ人が地域に関わる仕組みの検討

7

■○○を求めています、など地域に関わる情報を掲載

- ・例えば、「お神輿をかつぐ人を募集しています」など冊子を読んだ人が地域に関わるきっかけになるような情報も掲載



「お神輿担いでくれる人募集します！」

「お餅ついてくれる人募集します！」

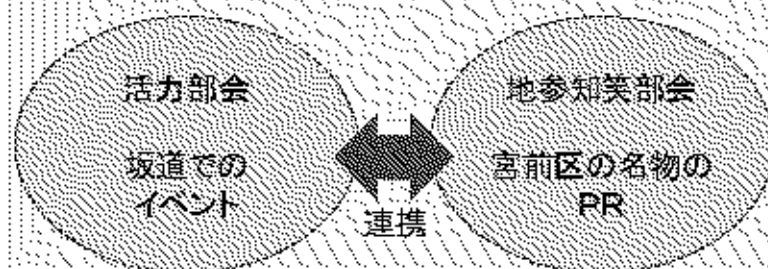


部会で出されたその他の意見

9

■活力部会との連携

- ・活力部会でマラソン等を実施するのであれば、連携して、宮前区の名物をPRする



第3期宮前区区民会議 中間報告書 構成（案）

はじめに（委員長あいさつ）

目次

第1章 第3期の取り組み

1. 共通テーマ 宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり
～宮前区を、「ただ住む」だけでなく「暮らす」場所に～
2. 個別テーマ テーマ検討会・拡大企画部会を通じたテーマの絞り込み

第2章 区民会議の審議状況（活動記録）

1. 全体会と企画部会
 - ・開催経過と検討内容
 - ・両部会共通のアプローチ
2. 活力づくり部会
 - ・テーマ設定と検討内容
 - ・開催経過
 - ・今後の方向性や解決すべき課題
3. 地参知実部会^{まちみしや}
 - ・テーマ設定と検討内容
 - ・開催経過
 - ・審議内容
 - ・今後の方向性や解決すべき課題

第3章 区民会議フォーラム

1. 活動状況報告と事例紹介
2. 分科会（参加者とのディスカッションの様子を記録）

第4章 区民会議提案の進捗状況

資料編

1. 委員名簿
2. 全体会 資料抜粋
3. 専門部会 資料抜粋 議論ペーパー
4. 区民会議だより

平成 22 年度 宮前区区民会議フォーラムについて（案）

1 日時

平成 23 年 3 月 12 日(土) 13:30~16:00

2 場所

宮前区役所大会議室

3 目的

- (1) より多くの区民に区民会議の意義、活動内容を知ってもらう。
 (2) 参加した区民とともに、「宮前区らしさ・コミュニティづくり」について考える。
 (3) 提言後、取組を進める段階になったときの担い手・協力者を増やす。

⇒区民とともに拡大区民会議を開こう！というイメージ

4 内容

- (1) 区民会議からの検討状況報告 20 分
 (2) 事例紹介 40 分
 (3) グループワーク・部会のテーマに会場を分かれての意見交換会 40 分
 (4) グループワーク発表とフォーラム総括 20 分

5 グループワークについて

- ・活力づくり部会、地参知笑部会の両部会それぞれのテーマ内容に沿って、参加者と共に検討を深めるグループワークを開催する。
- ・参加者はその場で参加したいと思った方のグループに参加する。

6 グループワーク進行案（全体 1 時間）

- ・部会テーマに関連した投げかけを行い、ディスカッション。(40 分)
 活力づくり 坂を活用してやりたいこと
 坂道でどんなことしたら楽しいだろう？
 地参知笑 宮前区の産物でどんなことができる？
 宮前区の面白ガイドをつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう？
- ・ディスカッションの振り返り、まとめ(10 分)
 各グループが、ラベルで振り返りを行った上で、まとめの議論を行う。

7 事例紹介

- ・今後の議論の参考とするため、第 3 期テーマに関連した取り組みをゲストスピーカーとして招き、事例を紹介してもらうよう調整する。
 活力づくり ZAMA 坂道マラソン 【座間市・座間青年会議所】

8 スケジュール

時間	内容	役割分担
12:30	集合・設営 リハーサル	全員
13:00	開場・受付	受付係
13:30	開会・あいさつ・流れの説明	山下委員長
13:35	区民会議からの検討状況報告 プロジェクター等で簡潔に 20 分	報告：佐藤部会長 持田部会長
13:55~ 14:35	事例紹介と意見交換 プロジェクター等で 40 分程度	
休憩①10 分 各産品でティータイム？		セッティング・応接班
14:45~ 15:25	グループワーク 4 テーブル	進行：部会長+副委員長 書記係
休憩②10 分 各産品でティータイム？		セッティング・応接班
15:35	報告 20 分 (各テーブル発表 3 分・意見交換 2 分)	発表者：
15:55	あいさつ・閉会	山下委員長
16:30?	撤収・解散	全員

9 役割分担：区民会議委員全員で運営しよう！

会場設営・撤収	全員でやりましょう！	
受付係		
総合司会		
ティータイム対応班		
グループワーク発表者		
グループワーク書記		